

## 楽しく学んで 身近なことから “まちづくり” こうべまちづくり学校 「まちなみゼミ」の様子をご紹介します

ここ数年、資格取得やキャリアアップ、趣味やおけいこ、生涯学習といった「学習熱」が高まってきています。学生さんだけでなく、社会人や企業OB、主婦の皆さんなど、こそって勉強に励んでいるようで、ちょっとしたブーム到来!といえるかもしれませんね。

ところで、皆さんは「こうべまちづくり学校」をご存知ですか?

神戸市が企画・運営している「こうべまちづくり学校」では、まちづくりや地域活動についての最新の話題やノウハウを、各分野の専門家の先生方がわかりやすく市民の皆さんに教えてくださいます。テーマも、防災、コミュニティ、まちづくり、景観、住環境…というように、選んで学ぶこともできます。

今回は、まちや身近な地域の「景観」について学ぶ「まちなみゼミ」についてご紹介します。

### ■ どんなんことをしているの? ~講座内容紹介~

平成15年度「まちなみゼミ」の受講生は、定員を上回る41名でスタートしました。お互い知らない人同士の集まりでしたが、講座の回を追うごとに、受講生同士の会話も弾むようになりました。



講師の先生は毎回変わります。「景観とは何か?」という基礎については関西学院大学の加藤晃規先生から、「神戸にはどんな景観があるの?」という視点については画家の安田泰幸先生から、「色彩も大切です」というお話は色彩デザインの専門家岩井珠恵先生から、「みどりの活用事例」については淡路景観園芸学校で講義をされている林まゆみ先生から、各回とも非常に熱心な講義をしていただきました。このほか、実際にまちを歩いてまちなみや景観を観察するフィールドワーク(有馬温泉街)や、身近にみどりに触れる

ための寄せ植え講座もありました。



### ■ 課題制作に励む受講生 ~絵はがき展に向けて~

実は、このゼミでは講師の先生から毎回課題が出されます。講義によって得た知識と新しい視点でもって、自宅や職場周辺の身近なまちなみを“観る”練習になっています。毎回の課題にもかかわらず、受講生の皆さんには、ご自分の目で素敵な景観を切りとっていただいています。そこで、卒業制作(?)として、それぞれの“とっておきの神戸”を切り取った絵はがきサイズの作品を制作し、全員で「絵はがき展」を開催することになりました。受講生のほか、講師陣や担当職員も参加するこの展示会、是非、観にきてください。

(展示の日時は最終面をご覧ください。)

### ■ 身近なところから“まちづくり”

神戸市では「まちづくり学校」で学んだ知識を活かして、実際に自宅周辺やお住まいの地域のまちなみ向上に役立てていただきたいと思います。卒業される皆さんの今後の活躍がとても楽しみです。

## 散歩天国イタリア その3

2回にわたり、南部の海沿いに広がる大都市ナポリと北イタリアの小都市ヴィチエンツァをとりあげ、イタリア各地で見られる散歩習慣を紹介してきた。これまでに見てきたとおり、散歩習慣はまちごとに社会化されており、歩く通りや曜日、時間まで決まっている。例えばヴィチエンツァでは、土曜日の夕刻にはアンドレーア・パッラーディオ大通りで大勢の市民が散歩を楽しんでおり、このことはまちじゅうが知っている。

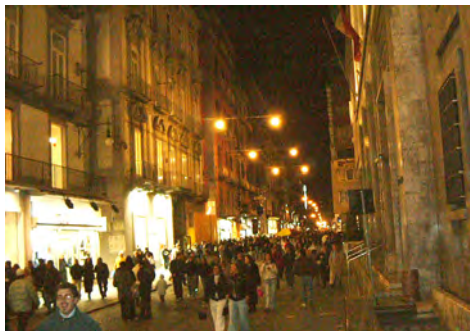
現地では、夏の天気の良い日の夕暮れが最も人出が多く、雨の日には少ない、というごくあたりまえの話も聞いた。気が乗らなければ参加しなくてもいい。義務ではないのだ。

なぜこんな習慣があるのか。日本への留学経験があり、ナポリ東洋大学で日本語を教えているシルヴァーナ・デ・マイオさんの答は、「どうして?と聞かないで。特に理由はないから。」というつれないものだった…。

### ◆散歩習慣の醍醐味

毎週末同じような時間に大勢で歩く。しかも同じ通りを何度も往復しながら。こういった歩き方からすると、「新しく本屋ができた」、「クリスマスの飾り付けが始まった」といった「まちに関する知識」を得るために歩いているわけではなさそうだ。

現地で観察して初めて気付いたことだが、イタリアの散歩習慣の醍醐味は、同じまちに住むものどうしの対面コミュニケーションである。歩きながら通りに集まる人々をお互いに観察して楽しんでいるのだ。誰にでも、近所に住んでいる人など顔を知っている程度の付き合いの人はいるものだが、散歩習慣に参加することで、あの家には赤ちゃんが産まれたらしい、あれとあれは付き合いがあるらしい、といったことがわかる。もちろん、友人・知人であればより直接的に会話をすればいい。こうなると、知り合いや顔見知



ナポリ、ローマ通りでの散歩習慣



ヴィチエンツァ近郊、

パッサーネー

りが多い、自分が生まれ育ったまちを歩くのが最もエキサイティングである。人出が多ければ多いほど参加者一人一人の楽しみが大きくなるという相乗効果もある。どんどん人の輪が広がっていくことだろう。

ナポリでもヴィチエンツァでも、じかに散歩習慣に参加し、自分なりにこの習慣を楽しんだつもりであったが、本当の意味では、現地に住んでいるナポレターノやヴィチエンティーノの半分も楽しんでいないのかも知れない。いちげんさんである私には知り合いがないため、まちなみや通りの賑わいを表面的に楽しんでに過ぎず、それでは、この習慣の醍醐味を十分たんのうしたとは言えないのである。

### ◆本能を刺激する散歩

イタリアの散歩習慣の舞台は、車に邪魔されずに歩くことのできる歩行者専用の通りである。そして、その通りや立ち並ぶ建物は、人間が歩いて心地よいサイズにつくられている。通りが広すぎて落ち着かない、建物が高すぎて圧迫感を感じる、といったことはない。そのうえ、通りに沿ったまちなみは美しく、目に楽しい。

もうひとつ、散歩習慣の大きな特徴は、反対方向に歩く人とのすれ違いである。皆が同じ通りを往復するため、その場にい



“あなたもこうなる”、今を楽しもう

る人とはかなりの確率ですれ違ひ目が合うと声を掛け、立ち止まり、おしゃべりにつながる。すれ違いによって自然に話をする機会が生まれるのである。「歩く」という人間にとって根元的な行為にコミュニケーションを取り入れたこの散歩習慣のスタイルが、にぎやかなおしゃべりが大好きだといわれるイタリア人の気質にぴったりと合っているのだろう。

とは言え、天気の良い日の夕暮れ、品物が並ぶショーウィンドー、大勢の人、友人・知人とのおしゃべり、家族とのそぞろ歩き、こういった賑わいのなかを歩きたいと感じるのは、イタリア人に限らず都市に住むことを選択した人間の本能ではないだろうか。習慣をそのまま輸入するのは難しいと思うが、要は市民が本能的に「なんか楽しそう」と感じられるものであればいいのだ。うまく本能を刺激し、神戸にもこういった習慣が根付けばすばらしいと思う。(おしまい)

上村 竜生(都市計画総局地域支援室)

# 冷静と情熱のまちづくり

By 高橋 典子（都市調査計画事務所・WS隊）

自分達のまちを良くしたい、魅力的にしたい、という情熱を持った人達とのワークショップはとても楽しかった。これは、私がワークショップに参加して一番に言えることです。

特に、思い出されるのは「摩耶まち歩き会ワークショップ」です。まち歩きに集まった地元の方は総勢 50 人！！これには驚きでした。しかし、残念ながら、雨が降りまち歩きは中止に…。みんなで、「摩耶のよいところ」「ちょっとどうかな？（問題点）」と感じるところを出し合い、まとめる作業を行いました。みなさんまちについて熱心に話してくれて、自分のまちがすごく好きなのが伝わってきました。やっぱり、情熱を持ってまちづくりをすることが、まちの魅力を引き出す力となっているんだなぁと感じました。

もうひとつ感じたのが、まちについて考える時に大切なのは冷静さでもある、ということです。自分達のまちを客観的にみることは難しいと思うのですが、それができるからこそ問題を冷静に解決できるのではないかと思います。

ワークショップ隊として参加した私のほうが、お手伝いをするというよりも、まちづくりのおもしろさ、楽しさ、難しさを教えてもらえた6ヶ月でした。

# WSで積極的に変身

By 西林 昌子（プラン まち・さと・WS隊）

私達WS隊は、普段は別の場所で勤務しているため月1回定例会をまちづくりセンターで行っています。

定例会の前半は、それぞれの勤務報告や参加したWSの報告などを行います。後半は、WSのための勉強会を行います。勉強会では、ペンの使い方からWSのプログラム作成までを学び、この6ヶ月間さまざまなテーマをWS隊で話し合ってきました。

6ヶ月前まで私は、自分の意見をまとめることもそれを人に伝えることも苦手で、話し合いの場を避け、参加しても人の意見をただ聞いているばかりでした。そんな私が、勉強会やWSに参加し話し合いを繰り返すうちに積極的に自分の意見を伝えられるようになり、自分が住む町や他の町のことも考えられるようになりました。

それは、私の視野を広げる良いきっかけとなりました。

私のように自分の意見をまとめることもそれを人に伝えることや人前で表現することが苦手でWSに参加しても自分の意見を言えないだろうと諦め、今までWSに参加しなかった人も多いと思います。

しかし、WSのプログラムはいろんな方の意見を聞こうと意見を述べやすいように工夫を凝らしてあります。

WSに参加することは、自分のまちを活性化するきっかけでもあり、自分を変えるきっかけにもなると思います。

いろいろな方々が、たくさん参加していただけることを楽しみにしています。

## 新着図書のご紹介

図書ID	名称	大分類名	著者名	出版社	発行年月	頁数
003053	みんなのための公園づくり	土木・緑化	緑地計画学研究室	東京農大出版会	02年3月	141
003054	プオーリスの西洋館	住宅	山形政昭	淡交社	02年7月	319
003055	環境型社会構築への挑戦	環境	田中勝・田中信壽	中央法規出版	02年3月	392
003056	大震災100の教訓	阪神大震災	塩崎賢明・西川栄一	かもがわ出版	02年10月	252
003057	市民自治としての産業政策	行政・法律	今井照	公人の友	96年9月	230
003058	新自治体の政策形成	行政・法律	今井照	学陽書房	01年9月	212
003059	みどりのコミュニティデザイン	土木・緑化	中瀬勲・林まゆみ	学芸出版社	02年11月	221
003060	神戸とお好み焼き	神戸	三宅正弘	神戸新聞総合出版	02年12月	141

## まちづくり会館からのお知らせ

### こうべまちづくり会館 1階オープンギャラリーの展示

1月 5日(月)～27日(火)	空から見た震災復興写真展	都市計画総局地域支援室 区画整理課 こうべまちづくりセンター
1月29日(木)～2月6日(金)	まちなみゼミ 「とっておきの神戸」市民絵はがき展	まちづくり学校事務局

### こうべまちづくり会館 地階ギャラリーの予定

期 間	内 容・テ ー マ	主 催 者
1月 8日(木)～13日(火)	神戸大学写真部 部展	神戸大学写真部
1月15日(木)～20日(火)	麓和会洋画作品展(油彩)	麓和会
1月29日(木)～2月3日(火)	ろうきん公募写真展	(財)兵庫労働者福祉基金協会

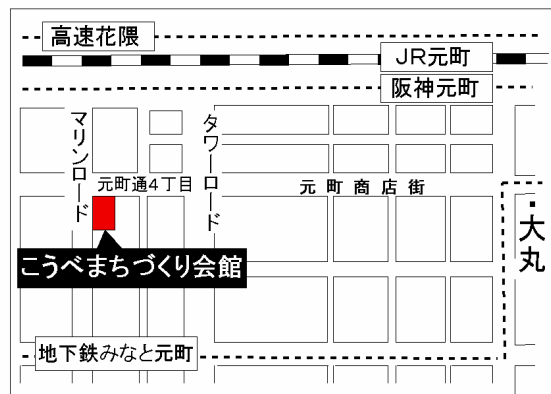
### 投稿のお願い

まちづくりセンターでは、「あーばんとーく」が読者の皆様のお役に少しでもたてるように、まちづくり協議会が行う地域でのイベントなどの行事案内やまちづくり協議会の活動の記事を募集しています。

誌面の許す限り最大限取り上げていきたいと考えています。

ご希望に応じて、取材にお伺いすることもできます。

まちづくりセンター(電話361-4523)までご一報ください。



### 最寄駅

地下鉄海岸線みなと元町駅西口から1分  
 高速花隈駅東口から3分  
 高速西元町駅東口から5分  
 JR・阪神元町駅西口から8分